

# 大阪府工業指数2026年3月【速報】

## 毎月の生産・出荷・在庫の推移

### 1 概況

(1)生産指数…91.5 前月比1.6% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、電気・情報通信機械工業など6業種が上昇し、化学工業、食料品工業など8業種が低下した。

品目別にみると、鉄道車両部品、プロジェクト等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、4.1%と4か月連続の上昇となった。

(2)出荷指数…92.7 前月比1.1% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、金属製品工業など5業種が上昇し、食料品工業、化学工業など9業種が低下した。

品目別にみると、リチウムイオン蓄電池、鉄道車両部品等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、4.8%と3か月連続の上昇となった。

(3)在庫指数…99.5 前月比▲1.1% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など7業種が低下し、電気・情報通信機械工業、その他工業など6業種が上昇した。

品目別にみると、ショベル系掘削機械、汎用内燃機関等が低下した。

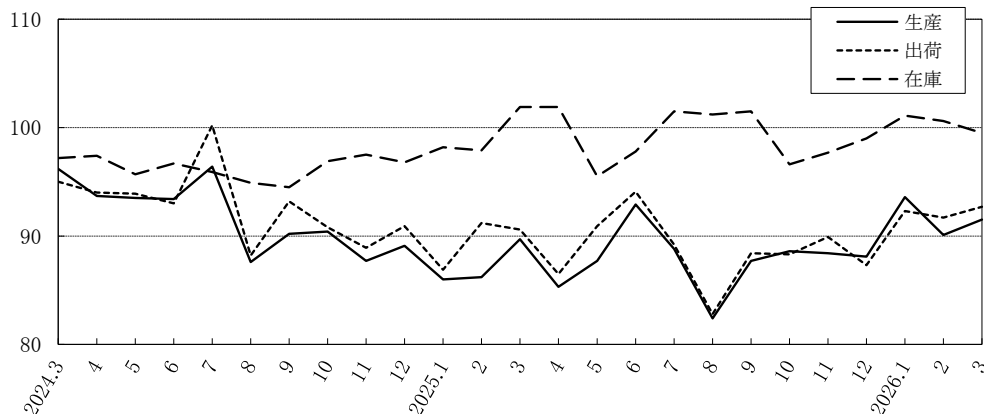
また、前年同月比(原指数)は、▲2.3%と5か月ぶりの低下となった。

2020年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前 月 比 (%)		前年同月比(%)
生 産	2026年 2月	90.1	▲3.7	88.1	4.5
	2026年 3月	91.5	1.6	99.4	4.1
出 荷	2026年 2月	91.7	▲0.7	88.3	0.6
	2026年 3月	92.7	1.1	102.2	4.8
在 庫	2026年 2月	100.6	▲0.5	99.6	2.8
	2026年 3月	99.5	▲1.1	95.8	▲2.3

生産・出荷・在庫の推移

数値は季節調整済指数



## 2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 1.6% 上昇 6業種  
 低下 8業種  
 横ばい 0業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	2.638	69.4	鉄道車両部品、鉄道車両
	電気・情報通信機械工業	1.644	19.9	プロジェクト、リチウムイオン蓄電池
	金属製品工業	0.871	12.2	橋りょう、超硬チップ
	汎用・業務用機械工業	0.156	1.8	ポンプ、ファンコイルユニット
	プラスチック製品工業	0.076	2.3	発泡プラスチック製品、プラスチック製フィルム・シート
	電子部品・デバイス工業	0.012	2.7	音響部品(スピーカ・マイクロホン)
	その他の上昇した品目			
低下	化学工業	▲ 1.309	▲ 6.5	医薬品、炭酸ガス
	食料品工業	▲ 1.084	▲ 10.4	ウイスキー、食用油脂
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.423	▲ 3.8	メーカー向け銅裸線、 特殊鋼冷間仕上鋼材
	石油・石炭製品工業	▲ 0.296	▲ 5.7	重油、ジェット燃料油
	生産用機械工業	▲ 0.260	▲ 2.1	超硬工具、個装・内装機械
	その他工業	▲ 0.241	▲ 3.7	マーキングペン、ゴムベルト
	窯業・土石製品工業	▲ 0.102	▲ 7.7	ファインセラミックス(構造材)、 耐火れんが
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.031	▲ 1.8	段ボール原紙
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	鉄道車両部品	輸送機械工業
	2	プロジェクト	電気・情報通信機械工業
	3	リチウムイオン蓄電池	電気・情報通信機械工業
	4	機械プレス	生産用機械工業
	5	橋りょう	金属製品工業
	6	鉄道車両	輸送機械工業
	7	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	8	精製・混合原料油	石油・石炭製品工業
	9	化粧品	化学工業
	10	開閉制御装置	電気・情報通信機械工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	ウイスキー	食料品工業
	3	超硬工具	生産用機械工業
	4	個装・内装機械	生産用機械工業
	5	化学機械	生産用機械工業
	6	鉄塔	金属製品工業
	7	重油	石油・石炭製品工業
	8	チリングユニット	汎用・業務用機械工業
	9	メーカー向け銅裸線	鉄鋼・非鉄金属工業
	10	ジェット燃料油	石油・石炭製品工業

(2)出荷 前月比 1.1% 上昇 5業種  
低下 9業種  
横ばい 0業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目	
上昇	電気・情報通信機械工業	1.761	21.8	リチウムイオン蓄電池、プロジェクト	
	金属製品工業	1.009	13.0	橋りょう、産業用アルミニウム製品	
	輸送機械工業	0.856	14.1	鉄道車両部品、鉄道車両	
	生産用機械工業	0.089	0.9	機械プレス、ショベル系掘削機械	
	プラスチック製品工業	0.009	0.2	プラスチック製パイプ、プラスチック製フィルム・シート	
	その他の上昇した品目			精製・混合原料油【石油・石炭製品工業】、ガソリン【石油・石炭製品工業】	
低下	食料品工業	▲ 0.816	▲ 7.9	ウイスキー、新ジャンルビール	
	化学工業	▲ 0.571	▲ 3.7	医薬品、フェノール	
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.418	▲ 3.1	特殊鋼冷間仕上鋼材、普通鋼H形鋼	
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.306	▲ 3.7	パッケージ形エアコン、チリングユニット	
	石油・石炭製品工業	▲ 0.285	▲ 3.5	軽油、重油	
	その他工業	▲ 0.181	▲ 3.2	マーキングペン、タフテッドカーペット	
	窯業・土石製品工業	▲ 0.060	▲ 5.7	ファインセラミックス(構造材)、研削砥石	
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.015	▲ 3.6	固定コンデンサ	
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.012	▲ 0.8	段ボール原紙	
		その他の低下した品目			電動アシスト自転車【輸送機械工業】、超硬工具【生産用機械工業】

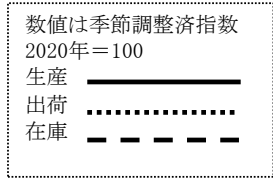
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫 前月比 ▲1.1% 上昇 6業種  
低下 7業種  
横ばい 0業種 計 13業種

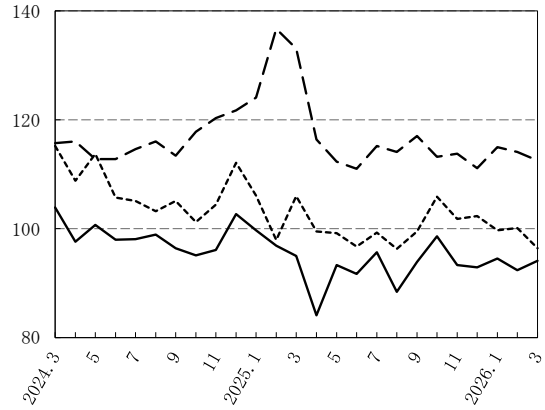
区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	0.769	5.9	セパレート形エアコン(室外)、LED器具(除.自動車用)
	その他工業	0.125	2.5	タフテッドカーペット、金属製家具
	食料品工業	0.076	1.5	チョコレート
	プラスチック製品工業	0.038	1.0	プラスチック製建材、プラスチック製機械器具部品
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.006	0.6	紙器用板紙
	窯業・土石製品工業	0.004	0.6	研削砥石、複層ガラス
		その他の上昇した品目		
低下	生産用機械工業	▲ 1.796	▲ 17.7	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.625	▲ 2.5	鋼半製品、鉄鋼切断品
	金属製品工業	▲ 0.182	▲ 2.0	飲料用アルミニウム缶、ワイヤロープ
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.116	▲ 1.4	汎用内燃機関、チリングユニット
	輸送機械工業	▲ 0.050	▲ 5.9	電動アシスト自転車
	石油・石炭製品工業	▲ 0.021	▲ 0.6	ジェット燃料油、ガソリン
	化学工業	▲ 0.014	▲ 0.1	ポリプロピレン、ふっ素樹脂
	その他の低下した品目			特殊鋼冷間仕上鋼材【鉄鋼・非鉄金属工業】、合成アセトン【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

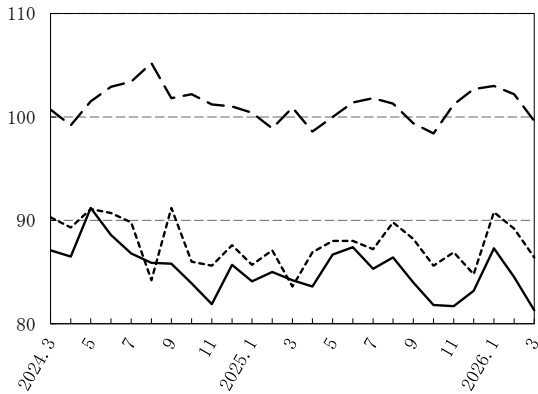
### 3 業種分類別の推移



汎用・業務用機械工業



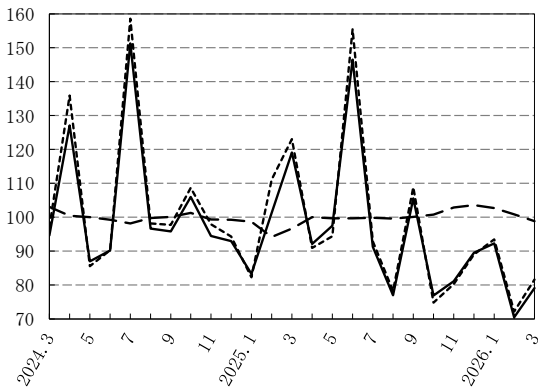
鉄鋼・非鉄金属工業



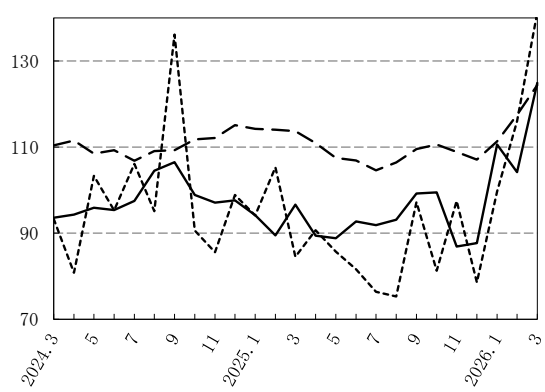
電子部品・デバイス工業



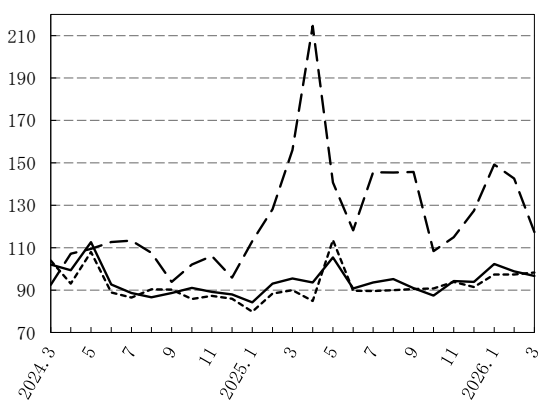
金属製品工業



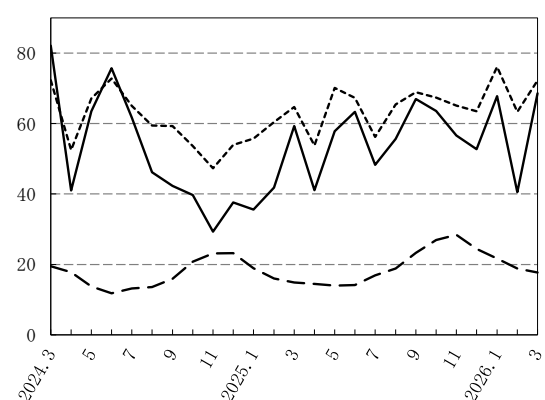
電気・情報通信機械工業

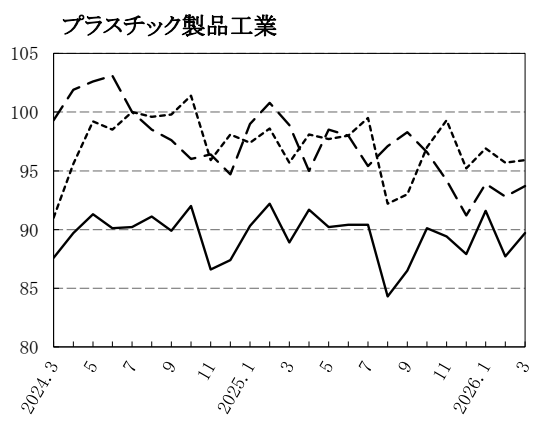
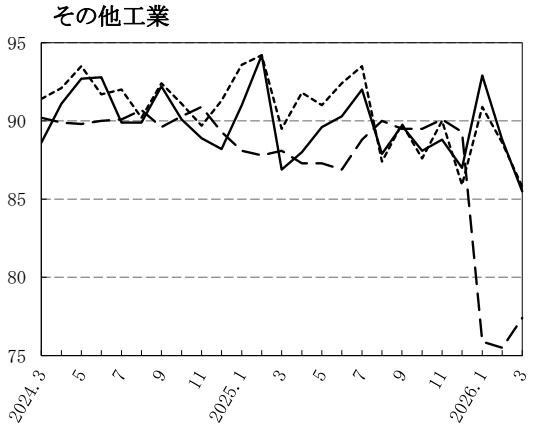
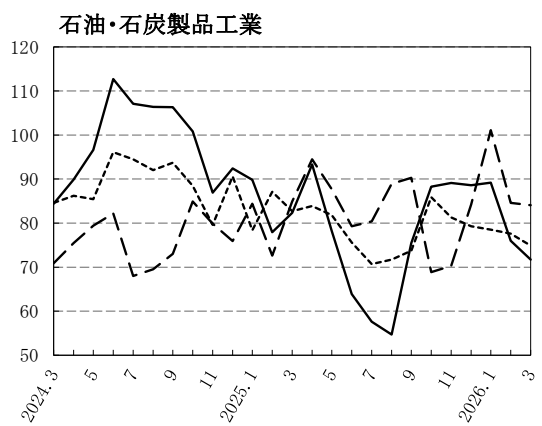
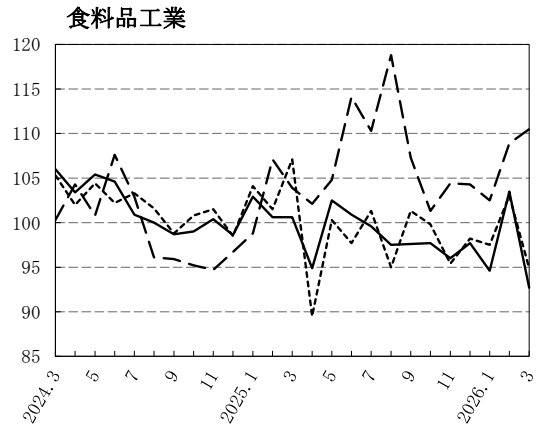
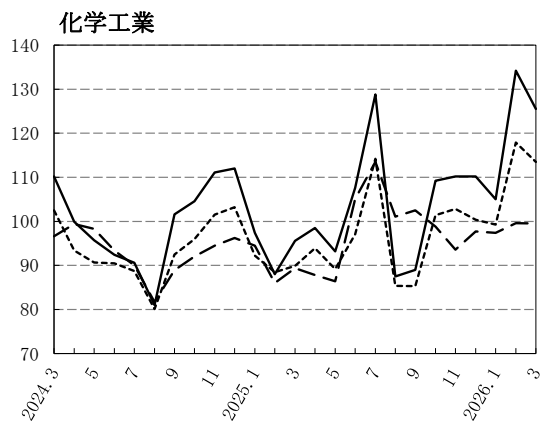
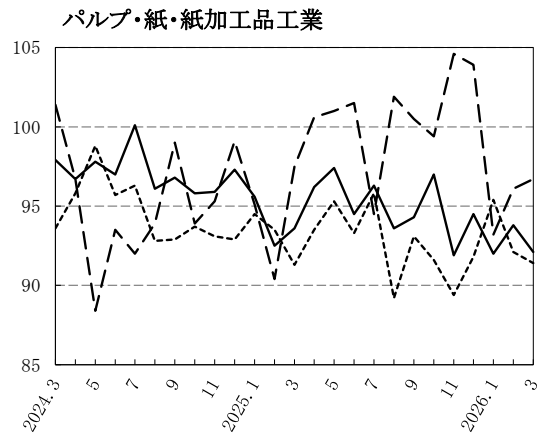
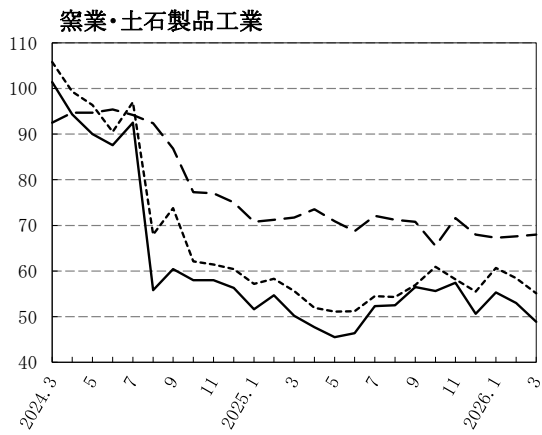


生産用機械工業



輸送機械工業





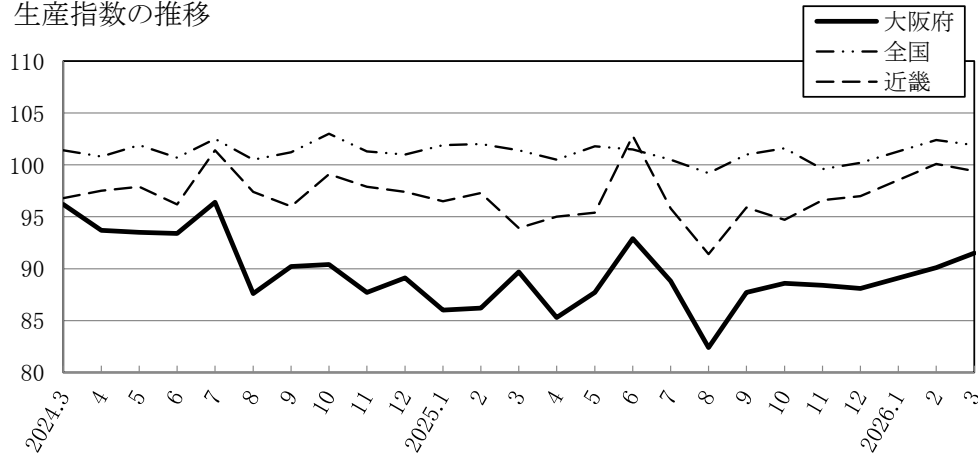
## 4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	91.5	1.6	101.9	▲0.5	99.4	▲0.7
出荷	92.7	1.1	99.5	▲1.1	97.5	▲1.3
在庫	99.5	▲1.1	96.6	▲1.5	99.9	▲2.7

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



### 1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

### 2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

### 3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

### 4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2024年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2025年6月速報(2025年8月29日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2025年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL: 06(6210)9195(直通)